



PRO-AM入賞!!
坂東ソアラ

詳報!!

WTAC 世界最速決定戦

アンダー鈴木、250km/hでの大クラッシュ!!



<https://option.tokyo>

OPTION 2020年1月号(毎月26日発売) 11月26日発売
第40巻第1号 通巻516号

Real Tune & Exciting Car Magazine
01
January
2020
オプション

Option

2019年のベストヒットと2020年の展望

パーツ

メーカーに聞く

売れスジPARTSと その理由

ココまでやるか!!

至極の660ワールド



国内最大のドラッグレース

Option × G-DAYS

SUPER DRAG Festival

新型

スーブラ徹底検証

RZ 3.0ターボの全開加速テスト & ECUチューン

SZ&SZ-R 2.0ターボ、サーキットで乗り比べテスト

SEMA SHOW発 新型スーブラワールドチューニングレポート



◎4WD改ドリフト仕様 [R35 GT-R & VAB WRX]

◎アクティブ・GT-R復活計画

◎東京モーターショー2019

web option
EXCITING CAR WEB MAGAZINE

<https://option.tokyo>



ZETAⅣ

カラー：グラデーションロゴ、ブラック、レッド

サイズ：STD、XL

価格：9万2000円（ブラック、レッド／FRPシェル）

9万5000円（グラデーションロゴ／FRPシェル）

14万2000円（ブラック、レッド／アラミドシェル）

14万5000円（グラデーションロゴ／アラミドシェル）

売れスジ
PARTS
その1

ZETAⅢとVIOSⅢの 良い所をミックス& 進化モデル!

パ ケットシートシリーズのスタンダードモデルとして、長く親しまれていたジータⅢが完全リニューアルし、新たに『ジータⅣ』となって11月から発売が開始された。

ジータⅢはその抜群のホールド性を備えていることに間違いはない。しかし近年、新車投入されるクルマのフロア形状や車内のスペースに変化が出てきているのも事実だ。そこで、現在のクルマに合わせてシェルの設計をリニューアルし、同時に使用する素材なども吟味。さらなるホールド性や機能向上に成功したブリッド渾身のモデルとなる。

日本人の標準体型でもある身長170cm、体重65kgを想定。シェルデザインの最適化によってホールド性を高めながら、全体で15%の剛性アップと5%の軽量化を実現している。

ZETAⅢからの進化のひとつは、臀部を据り下げることで着座位置を下げられるLOW MAX仕様となったことだ。

BRIDE

ブリッド ☎052-668-2611
https://bride-jp.com

ラインアップを大幅刷新 より高性能になった フルバケを体感せよ!



XERO SV

カラー：グラデーションロゴ、ブラック

価格：未定

売れスジ
PARTS
その3

タイトな車内でも 装着可能に コンパクト設計で登場!

現 在発売されているXEROシリーズは、新たに設計された全身を包み込むシェルデザインが特徴。高いシート剛性とホールド性能で挙動が激しいモータースポーツシーンにおいても、正確なペダルワークとステアリング操作を可能にしてくれる。

既存の『XERO RS』は、衝突時にしっかりと頭部をサポートする大型ヘッドガードを装備したサーキット専用モデル。『XERO CS』は、中型のヘッドガードを装備した車検対応モデルとして注目を集める。

そしてこの冬発売される『XERO VS』は、コンパクトヘッドガードと、ショルダーの左右寸法を抑えたモデルで、空間制約のある車種にも装着可能となる。本格的なスポーツ走行を望んでいたコンパクトカー等のオーナーにとっても待望の一脚となるだろう。

ZIEGⅣ

カラー：グラデーションロゴ、ブラック、レッド

価格：10万5000円

（ブラック、レッド／FRPシェル）

10万8000円

（グラデーションロゴ／FRPシェル）

15万5000円

（ブラック、レッド／アラミドシェル）

15万8000円

（グラデーションロゴ／アラミドシェル）

売れスジ
PARTS
その2

ジータⅣ（写真左）と比較するとサイドサポート形状はより深くなり、ホールド性をアップ。また肘部に干渉するポイントを削り込むことでよりコンパクトな設計が施されている。

高いホールド性能は さらなる高みへ!

S UPER GTへの参戦経験から設計・開発されたZIEGシリーズ。そんな背景もあって、激しい横Gでもドライバーをしっかりホールドしてくれる堅牢な作りが特徴だ。結果、ドライビングに集中することができ、タイムアップに寄与するシートとしても話題になったZIEGシリーズ。

そんな高性能はそのままに、シェル形状の変更や背部のシートバックに縦ステッチを入れるなど、さらに進化させることでより深い着座姿勢&ホールド性能を高めてきた。

今後は大柄なドライバーにもマッチするように、ワイドサイズもバリエーションに加わる予定だという。趣味としてでもサーキット走行を正しく志す者ならば、装着して満足のできるフルバケットシートを是非手に入れたい。

ジータⅣとジータⅣ、そしてゼロVSは
現在の車両設計にマッチするように
シェル設計から刷新しました!

by ブリッド 岩橋さん

2シーターのオープンカーやKカーなどではスペースの関係から装着が難しい車種もあったが、ホールド性を損なわずシェイプ化に成功したゼロVS。

